



子どもが病気やけがをしたときに

病児・病後児保育のご案内

☎ 保育支援課 ☎ 36-7195

病児・病後児保育とは

▼次の状況にある場合に、看護師・保育士が子どもを預かり、状態に応じた看護・保育を行います。

●市内に住む小学6年生までの子どもが、病中または病気やけがの回復期にある場合

●保護者が就労などの理由（冠婚葬祭・傷病・出産などを含む）により、家庭で保育できない場合

【病児保育施設】

子どもが急に発熱したが、保護者が仕事を休めないとき
※麻疹の子どもは、お預かりできません。

【病後児保育施設】

風邪などで熱は下がったが、まだ保育所や学校には行けず、保護者が仕事を休めないとき
※感染症の子どもは、お預かりできません。利用するには、登園（校）許可証が必要です。

利用時の注意点など

- ▼かかりつけ医などで診療を受け、病児保育・病後児保育の利用許可を得てから利用してください。
- 受入要件／次の全てを満たすこと
- 安静が必要であり、集団生活に支障を来す
- 重篤な基礎疾患がない
- 口から水分を摂れる
- 点滴や入院の必要性がない

■ 市内病児保育施設・病後児保育施設一覧

施設	実施場所	電話番号	利用時間	料金
病児保育施設	リバティ病児保育室え〜ら	39-3777	8:30 ~ 17:00	2,300 円(1 日)
病後児保育施設	島田聖母保育園	37-5430	9:00 ~ 16:00	各施設へ 問い合わせ
	初倉保育園	38-2525	9:00 ~ 15:00	
	認定子ども園大津保育園	39-5953	8:00 ~ 17:00	
	認定こども園五和保育園	45-3374	8:00 ~ 17:00	

※当日の子どもたちの状況により、お預かりできない場合があります。
※利用するには、事前の登録や予約、医師の診療が必要です。詳しくは、各施設にお問い合わせください。



暑い夏を元気に過ごすために

熱中症に気をつけよう！

☎ 健康づくり課 ☎ 34-3285

熱中症の原因と対策

▼夏の強い日差しや、高温多湿の気候は、子どもの体に大きな負担をかけます。周囲の大人が正しい知識を身に付けて、暑い夏を安全に楽しく過ごせるようにしていきます。

【ふんこっ起いの】

熱中症は、汗をかけなくなり、体温を調節できなくなるために起こります。また、次の状況にある場合に、発症しやすいといわれています。

●気温32度以上、湿度60%以上の環境

●十分な水分補給をしないで、運動する

【子どもの熱中症】

子どもは、大人よりも脱水症状を起こしやすい、体調不良を自分で伝えられないため、より注意が必要です。

【熱中症にならないために】

- 外では必ず帽子を着用
- 外に出る時間帯と長さに注意
- 小まめに水分補給
- エアコンや扇風機を活用
- ※高温の室内や車中は、とても危険です。絶対に、子どもを独りにしないでください。
- 【熱中症の疑いがあるときは】
涼しいところで体を冷やして休ませ、少量の塩分が入った水分を補給しましょう。